

日時・場所：平成28年8月31日（水）19：00～ 市役所4階401会議室  
 会議名：羽咋市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議（平成28年度第1回）

報告・発表（まとめ）

グループ名：【雇用創出グループ】基本目標1

通し番号	意見	総合評価
1	①季刊誌でもよいが外向いてPRすべき。 ②販売（出口戦略）に力を入れていかないといけない。特に野菜。 ③輸出産業化に向けての具体的な取組みが必要。	◎
2	①加工品の取組が重要。 ②月150kg程度、イノシシ肉は販売でき、平成28年度は500万の売上目標が達成できる見込みであるとのことから、このまま事業を継続していくことでよい。	○
3	①離農希望者とのマッチングで新規就農者を探るのも大切。 ②郡や七尾では就農の問い合わせがある。PR方法を工夫してほしい。 ③就農3年目までが収入が厳しい。アフターフォローが大切。 ④技術指導や農地の確保など、広範囲でのフォローを充実させることが重要。 ⑤発展的に、手厚く、見直しが必要。	△
4	特になし。	○
5	①誘致可能用地のデータベースをしっかりと作る。 ②旧学校用地なども活用すべき。 ③空き事務所、空き工場なども把握すべき。 ④既存施設の活用も視野に入れる。 ⑤△に近い。	○
6	①新規起業はなかなか難しい。今ある個人事業者が新しくしようとする事にも支援することも重要。	○
7		

日時・場所：平成28年8月31日（水）19：00～ 市役所4階401会議室  
 会議名：羽咋市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議（平成28年度第1回）

発表時のまとめ

グループ名：【移住・交流グループ】基本目標2

通し番号	意見	総合評価
1	①移住希望者に魅力ある施策を実施することが必要。例えば、自然栽培ならそれで生活できるような支援が必要であると思う。	◎
2	①関東以外の羽咋会についても情報発信のお手伝いをし、羽咋市のPR体制を構築する必要がある。	○
3	①車で羽咋市を訪れる方の割合が圧倒的に多いので、駅以外の整備に予算を回した方がよい。 ②△に近い。	○
4	①今市内で宿泊できる施設の中で、誰や何を目的（ターゲット）とした誘致をPRしていくのかを明確にした方がよい。	△
5	①「はくい」と読める人が少ないので、その部分でストーリーのあるPRをもっとした方がよい。 ②まず観光地としての人気2本柱として千里浜なぎさドライブウェイと気多大社をさらにイベント等を交えてPRすべきである。その波及効果により、他の観光資源の発掘、磨き上げを行うことが必要である。	○
6		
7		

日時・場所：平成28年8月31日（水）19：00～ 市役所4階401会議室  
 会議名：羽咋市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議（平成28年度第1回）

発表時のまとめ

グループ名：【結婚・出産・子育てグループ】基本目標3

通し番号	意見	総合評価
1	①出会いを創出するには「婚活」という名称を出さないでイベントを開催したほうがよい。「婚活」というと女性は参加するときに身構えてしまう。 ②市の補助金制度を活用し、気軽に集まれる場を開催したらよいと思う。	◎
2	①市の医療費サービスについては、高い方だと思う。 ②今後は、子どもの健康予防を含めた医療サービスを課題として検討してほしい。	◎
3	①お母さんたちが安心して利用が増えるように、4か月健診や両親学級など育児負担が増えるときにもっと周知することが大事である。 ②看板等を作って、使いたいときに見えるようにすることも必要である。	◎
4	①保護者にとっても必要であり、とても便利である。	○
5	①キャリアアップにつなげるのであれば、もう少し視野を広げた事業内容や取組みにする必要がある。 ②わくワークについても、現状一人1事業所だが、目標70事業所ならば一人2事業所にしたり、受け入れる事業所に対しての説明等のサポートをしたり、充実させるための見直しが必要である。	△
6		
7		

日時・場所：平成28年8月31日（水）19：00～ 市役所4階401会議室  
会議名：羽咋市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議（平成28年度第1回）

発表時のまとめ

グループ名：【地域づくりグループ】基本目標4

通し番号	意見	総合評価
1	①目標値を上回っており、今後もニーズを踏まえて対応していく必要がある。	◎
2	①空き家バンク制度への登録が促進されるよう、さらにPRが必要である。 ②不動産業者との連携が必要である。	◎
3	①高齢者の増加に伴い、認知症の人も増えていくことが予測されている。サポーターが実際の活動ができるような実践的な講座を推進していくように。	◎
4	①筋トレはかなり浸透しているが、高齢期でも60代等、早いうちからの取組が必要である。 ②羽咋はつつ体操は高齢者でも取り組みやすいので普及を進めていくことが大事である。	◎
5	①当面は地域の足として、るんるんバスは必要である。 ②今後は、他の施策の検討も必要である。	◎
6	①今後、設置者の増加が見込まれるため予算の確保が必要であろう。	◎
7	①青年団、婦人会の活性化も考慮し、町と行政が各町の状況に応じた地域の連携を協働で推進していく必要がある。	◎